



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO

(氏名) 本田 仁志

TEL 03-4363-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	118,646	5.4	6,201	40.8	6,188	41.7	3,401	△18.1
23年3月期第3四半期	112,611	0.2	4,405	75.6	4,367	81.8	4,154	302.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,250百万円 (△6.8%) 23年3月期第3四半期 3,487百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	82.66	—
23年3月期第3四半期	100.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	88,959	45,933	47.9	1,036.17
23年3月期	90,134	44,410	45.5	997.46

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 42,632百万円 23年3月期 41,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当期の連結業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力供給不足に加え、急激な円高進行などにより、今後の企業活動の動向に与える影響が不透明な状況となっており、現段階では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	48,794,046 株	23年3月期	48,794,046 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	7,649,554 株	23年3月期	7,648,617 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	41,144,906 株	23年3月期3Q	41,146,320 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響から復旧しつつあるものの、欧州財政危機に端を発した世界経済の減速、円高の長期化といった景気下振れ懸念が払拭されず、引き続き、不安定な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境は、情報サービス市場では、引き続きIT投資需要が低調に推移するなど厳しい状況が続いておりますが、デジタルマーケティング市場では、スマートフォンやタブレット端末などの新デバイス、ソーシャルメディアなどを中心とした新たなマーケティング活動を模索する企業が増加傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、新たな成長の土台を固めることを本年度スローガンに掲げ、企業ニーズを捉えたサービス販売の強化、再加速するグローバル化を見据えた海外展開の更なる強化などを重点的に取り組みました。

国内では、EC運用業務において培った経験とノウハウを基に開発したECサイト構築エンジン「MCM EC Builder」(エムシーエム イーシー ビルダー)を提供開始しました。またスマートフォン・タブレットPCなどのスマートデバイスを導入する企業向けに、専門のサポートセンターを構築し、シェアード型でのサービス提供を開始しました。海外では、韓国において7拠点目となるコールセンターを新たに開設しました。またイギリスのBPO企業であるMerlin Information Systems Group Limited(本社:イギリス バッキンガム)と業務・資本提携を行い、英語圏・ヨーロッパ言語圏・アジア圏におけるBPO・コールセンター業務において連携していくなど、グローバルでのサービス体制をより一層強化しました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高118,646百万円となり前年同期比5.4%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加や販売費及び一般管理費の削減などにより、営業利益は6,201百万円となり前年同期比40.8%の増益、経常利益は6,188百万円となり前年同期比41.7%の増益となりました。また、前年同期に計上していた投資有価証券売却益等の減少や税金費用の増加などにより、四半期純利益は3,401百万円となり前年同期比18.1%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、ITサービスの需要拡大やコスト適正化による収益性の改善の影響もあり、売上高は95,464百万円と前年同期比4.1%の増収となり、セグメント利益は4,739百万円と前年同期比35.4%の増益となりました。

(B to B国内子会社)

B to B国内子会社につきましては、前期実施したグループ再編の影響などにより、売上高は15,467百万円と前年同期比6.6%の減収となりました。セグメント利益につきましては、コスト削減効果等により468百万円となり前年同期比2.6%の増益となりました。

(B to B海外子会社)

B to B海外子会社につきましては、韓国や中国におけるコールセンターサービスの受注が比較的好調に推移し、売上高は11,574百万円と前年同期比14.5%の増収となりました。また、韓国におけるコールセンターサービス子会社やオフショア開発の利益改善などにより、セグメント利益については、369百万円(前年同期はセグメント利益30百万円)と大幅な増益となりました。

(B to C子会社)

B to C子会社につきましては、国内のコンシューマ向けソフトウェア販売が好調に推移し、売上高は3,627百万円と前年同期比73.8%の増収となり、セグメント利益は511百万円と前年同期比105.2%の増益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,174百万円減少し、88,959百万円となりました。このうち流動資産につきましては、1,097百万円増加し、62,199百万円となりました。これは財務体質の改善などにより現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産につきましては、2,271百万円減少し、26,759百万円となりました。これは当社における欠損金に係る繰延税金資産が減少したことや有形・無形固定資産の償却による減少等によるものであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて2,698百万円減少し、43,025百万円となりました。これは有利子負債および賞与引当金の減少によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて1,523百万円増加し、45,933百万円となり、自己資本比率は、47.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力供給不足に加え、急激な円高進行などにより、今後の企業活動の動向に与える影響の見極めが困難な状況となっております。この先行き不透明な状況により、現時点では、当社の連結業績に与える影響を合理的に算定できないため、当期の連結業績見通しについては、未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,797	33,455
受取手形及び売掛金	23,406	22,955
有価証券	27	—
商品及び製品	41	85
仕掛品	552	659
貯蔵品	52	26
繰延税金資産	3,769	2,965
その他	1,894	2,440
貸倒引当金	△438	△388
流動資産合計	61,102	62,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,685	3,517
工具、器具及び備品（純額）	2,495	2,273
土地	1,145	1,137
その他（純額）	335	312
有形固定資産合計	7,661	7,239
無形固定資産		
のれん	297	262
ソフトウェア	1,266	1,130
その他	326	328
無形固定資産合計	1,891	1,722
投資その他の資産		
投資有価証券	3,919	3,920
関係会社株式	3,358	3,330
その他の関係会社有価証券	75	74
関係会社出資金	368	364
繰延税金資産	2,707	1,660
差入保証金	4,584	4,441
その他	4,784	4,328
貸倒引当金	△318	△321
投資その他の資産合計	19,479	17,797
固定資産合計	29,031	26,759
資産合計	90,134	88,959

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,118	4,021
短期借入金	846	509
1年内償還予定の社債	1,070	1,070
1年内返済予定の長期借入金	12,152	8,949
未払金	2,435	2,312
未払費用	5,077	6,572
未払法人税等	592	384
未払消費税等	1,337	1,637
賞与引当金	3,107	1,573
その他	1,367	1,709
流動負債合計	32,105	28,739
固定負債		
社債	1,660	850
長期借入金	8,525	10,211
退職給付引当金	127	142
訴訟損失引当金	2,555	2,555
その他	749	526
固定負債合計	13,618	14,285
負債合計	45,723	43,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	10,289	12,332
自己株式	△15,922	△15,923
株主資本合計	43,943	45,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△149	△174
為替換算調整勘定	△2,752	△3,178
その他の包括利益累計額合計	△2,902	△3,353
少数株主持分	3,369	3,301
純資産合計	44,410	45,933
負債純資産合計	90,134	88,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	112,611	118,646
売上原価	92,085	97,101
売上総利益	20,526	21,545
販売費及び一般管理費	16,120	15,343
営業利益	4,405	6,201
営業外収益		
受取利息	51	42
受取配当金	3	17
持分法による投資利益	76	209
デリバティブ評価益	—	115
助成金収入	417	153
その他	151	154
営業外収益合計	700	693
営業外費用		
支払利息	434	312
為替差損	143	276
その他	160	117
営業外費用合計	738	706
経常利益	4,367	6,188
特別利益		
投資有価証券売却益	1,701	45
企業立地助成金等	59	44
その他	314	33
特別利益合計	2,075	123
特別損失		
減損損失	395	87
投資有価証券評価損	50	69
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53	—
その他	374	67
特別損失合計	874	225
税金等調整前四半期純利益	5,568	6,087
法人税、住民税及び事業税	303	488
法人税等調整額	862	1,827
法人税等合計	1,166	2,315
少数株主損益調整前四半期純利益	4,402	3,771
少数株主利益	247	369
四半期純利益	4,154	3,401

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,402	3,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△425	△25
為替換算調整勘定	△388	△413
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	△80
その他の包括利益合計	△914	△520
四半期包括利益	3,487	3,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,290	2,950
少数株主に係る四半期包括利益	197	300

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	91,529	9,220	9,778	2,084	112,611	—	112,611
セグメント間の内部 売上高または振替高	147	7,347	330	3	7,827	△7,827	—
計	91,676	16,567	10,108	2,087	120,439	△7,827	112,611
セグメント利益	3,499	457	30	249	4,236	168	4,405

(注) 1 セグメント利益の調整額168百万円は、セグメント間取引消去133百万円、のれんの償却額35百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	95,306	8,527	11,191	3,621	118,646	—	118,646
セグメント間の内部 売上高または振替高	158	6,939	383	6	7,487	△7,487	—
計	95,464	15,467	11,574	3,627	126,133	△7,487	118,646
セグメント利益	4,739	468	369	511	6,088	113	6,201

(注) 1 セグメント利益の調整額113百万円は、セグメント間取引消去45百万円、のれんの償却額67百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。